

2015年度 北海道大学 前期 日本史

① 律令国家の形成・古代の土地制度

出題範囲	古代の政治・外交・社会史
難易度	★★★★☆
所要時間	20分
傾向と対策	第1問は、古代の政治外交史及び土地制度とその変遷について問う問題であった。問1や問4、問5のような論述問題は、受験生にとって比較的取り組みにくく、郷戸・房戸のような細かい知識を要求されるものも出題された。中でも問5の論述は、リード文を読み込む必要がある論述であったため、苦戦した受験生が多かったであろう。教科書本文レベルの基本的用語だけでなく、注釈のような細かい知識にまで普段から目を配ることが大切であろう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

A

問1 当時の皇后は、天皇の没後に政務を代行し、自ら天皇に即位するなど、大きな権限を有し、皇族出身であることが原則とされたため。(60字)

問2 新羅 高句麗 北路 南路

問3 (1)大学 (2)国学

B

問4 (1)郷戸は、班田や租税負担の単位になる行政組織の最末端として編成された戸である一方、房戸は、郷戸を分割して設けられ、実際の生活単位たる小家族に近い性格をもっていた。(80字)

(2)5人 (3)軍団

問5 墾田永年私財法により，墾田が増加し口分田との識別が難化した。(30 字)

問6 (1)名 (別解：名田) (2)田堵 (別解：負名)

A

問1 難易度：★★★★☆

解答例

当時の皇后は，天皇の没後に政務を代行し，自ら天皇に即位するなど，大きな権限を有し，皇族出身であることが原則とされたため。(60 字)

設問の要求

字数 60 字以内

主題 藤原不比等の娘宮子が皇后にならなかった(なれなかった)理由

条件 当時の皇后に求められた条件，および役割に留意

解説

まず，当時の皇后に必要とされた条件および役割について説明する。皇后の役割について，皇后は天皇の正妻であり，天武天皇(位 673～686)の皇后であった持統天皇(位 690～697)のように，天皇の没後に政務を代行し(例えば称制)，自ら天皇に即位するなど，政治的に大きな権限を有していた。皇后の条件について，実際に皇族出身であることが原則であった。

次に，宮子が皇后にならなかった(なれなかった)理由については，上記の条件を満たさなかった，つまり藤原不比等(659～720)の娘宮子は皇族出身ではなかったからだと考えられる。

以上をまとめて解答する。

問2 難易度：★★★★☆

解答

ア 新羅 イ 高句麗 ウ 北路 エ 南路

解説

660 年に唐・新羅の連合軍によって百済が滅ぼされると，百済との友好関係を長く保ってきた倭(日本)は，百済復興のため水軍を派遣したが，663 年に唐・新羅の連合軍に大敗を喫した(白村江の戦い)。

こののち，唐・新羅連合軍は，668 年には高句麗を滅ぼして朝鮮半島における支配権を確立し，676 年には新羅が唐の干渉を排除して半島を統一した。

新羅は，日本に対等外交を求めたが，日本は新羅を従属国として扱おうとしたため，政治的な緊張が高まった。そのため遣唐使の航路は，始めは新羅沿岸を経由する北路をとっていたが，8 世紀初頭からは新羅の沿岸を避けて東シナ海を横切る南路をとるようになった。

問3 難易度：★★★★☆

解答

(1)大学 (2)国学

解説

官吏養成のため教育機関の充実が図られ、中央には式部省の管轄で**大学**が、地方には**国学**がおかれた。大学には**貴族の子弟・朝廷に文筆で仕えてきた人々の子弟ら**が入学し、儒教の經典を学ぶ**明経道**や法律を学ぶ**明法道**、音・書・算などの諸道が教えられた。

国学には、**郡司の子弟ら**が入学し、国司の監督下に博士・医師が教官となった。

これらの教育機関を修了したのちは、ともに式部省が行う試験を受けて官吏に登用されるしくみであった。

B

問4 難易度：★★★★☆

(1)

解答例

郷戸は、班田や租税負担の単位になる行政組織の最末端として編成された戸である一方、房戸は、郷戸を分割して設けられ、実際の生活単位たる小家族に近い性格をもっていた。(80字)

設問の要求

字数 80字以内

主題 郷戸・房戸の説明

解説

郷戸は、里のもとに、行政組織の最末端として編成された戸で、**班田・徴税・徴兵の単位となる**ものであり、法律・行政上の単位である一方で、**房戸**は、**実際の生活単位たる小家族に近い性格**を持っていた。国郡里の区分を改めた郷里制が施行されると、郷戸の中に10人程度の房戸が設けられるようになったといういきさつがあった。

以上をまとめて解答しよう。

解答

(2)5人 (3)軍団

解説

(2)調は、繊維製品を中心に**諸国の産物を朝廷に納める**律令上の人頭税であり、**正丁・次丁**(正丁の半分)・**中男**(正丁の4分の1)に課されていた。

問題文に示された戸では、**正丁4人と少丁(中男)1人**がいるので、調は計**5人**が負担したと考えられる。また、問題文の戸では、1人兵士がいるが、**兵士には庸・雑徭は免除されたが、調は免除されなかった**ことにも注意したい。

(3)律令制下において、兵士が所属し、管理・訓練された組織のことを**軍団**とよぶ。また兵士は、**正丁の3~4人に1人**徴発され、諸国の**軍団**で訓練を受け、諸国の警備を担当した。

問 5 難易度：★★★★☆

解答例

墾田永年私財法により、墾田が増加し口分田との識別が難化した。(30 字)

設問の要求

字数 30 字以内

主題 班田の手続きが煩雑になった理由

条件 当時の土地政策に留意する

解説

当時の土地政策について考えてみる。

リード文の 2 段落目より、740 年から 746 年の間で班田の実施に遅れが出ていることが読み取れるだろう。このことから班田実施の遅延に関係した当時の土地政策は、743 年に発布された^{こんでんえいねん しざいほう}墾田永年私財法であると考えられる。墾田永年私財法は、身分によって墾田所有面積に制限を設けたものの、**墾田の永久私有を認めた**法令で、これにより大幅に**墾田が増加した**であろうことがわかる。

このため、班給対象となる**口分田と墾田の識別調査が煩雑になっていき**、造籍から班田までに長い時間を要するようになったのである。

以上をまとめて解答しよう。

問 6 難易度：★★★☆☆

解答

(1)名 (別解：名田) (2)田堵 (別解：負名)

解説

従来、律令制の税制は、**戸籍計帳支配に基づいて成人男性を中心に人頭税を課税する**方針をとっていた。しかし、**浮浪や逃亡の続出**、班田の途絶などにより人頭税徴収が困難になる状況が生じたため、政府は、税制を大きく転換した。具体的には、**1 国内の徴税と行政を受領**^{ずりょう}(**任国に赴任した国司の中で最上位の者**)に請け負わせて、受領が公領を**名**^{みょう}に編成し、田堵にその名の耕作と徴税を請け負わせる**負名**体制、つまりは土地課税方式へと転換した。

(浦地智暉，釈迦戸雅史，藤森千佳，下谷佳楠)

2015年度 北海道大学 前期 日本史

② 中世の都市・交通

出題範囲	中世の政治・経済・文化史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	第2問は、中世の都市や港に焦点を当てたリード文から、経済史のみならず中世の文化や政治についても幅広く問う総合的な問題であった。問5はやや細かいもののその他は基本的な単語が答えになっている。だが、論述問題に関しては、史料を用いた思考力や読解力・推理力が問われる部分もあった。基本問題は確実におさえたいうえで、こうした問題に対し他の受験生と差をつける解答を書けるかが勝負の分かれ目となる。過去問演習を充実させることはもちろん、史料集や図表を用いた多角的な学習を心がけよう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

問1 (1)①時宗 ②踊念仏 (別解：念仏踊, 遊行, 賦算)

(2)①備前 ②福岡

(3)蒙古襲来の危機の中で、朝幕間の連絡や東国武士の動員を円滑に遂行するため。(36字)

(4)北条時宗

問2 (1)記録荘園券契所 (別解：記録所) (2)後三条天皇

問3 関銭

問4 (1)巖島神社 (2)平家納経

問5 (1)草戸千軒町 (2)広島県

問6 動乱期の情勢の中で、富の源泉である市場と家臣が結びつくことは、反乱や分裂の発生・深刻化を助長し

うると考えられたため。(58 字)

問1 難易度：★★★★☆

(1)

解答

①時宗 ②踊念仏 (別解：念仏踊, 遊行, 賦算)

解説

一遍(1239~89)が開祖した時宗は鎌倉新仏教の 1 つで、念仏の系統である。その修行は踊念仏という、文字通り踊りながら念仏を唱えるもので、庶民に親しまれ広がっていった。布教においては、一遍自身が遊行上人^{ゆぎょうしやうにん}とよばれたように、遊行、つまり各地を渡り歩くスタイルをとった。ここでは、「修行や布教の形態を何と呼ぶか」と問われているので、どちらを答えてもよいだろう。また、この絵画史料は頻出の一遍上人絵伝である。

(2)

解答

①備前 ②福岡

解説

資料に描かれているのは、教科書にも載っている備前国福岡市である。福岡荘では、吉井川と山陽道の結節点で定期市が開かれていた。一遍上人絵伝には掘立柱の店や布を商う市女笠の女性などが描かれている。

(3)

解答例

蒙古襲来の危機の中で、朝幕間の連絡や東国武士の動員を円滑に遂行するため。(36 字)

設問の要求

字数 40 字以内

主題 富士川に舟橋が架けられた理由

条件 当時の政治・軍事状況を勘案する

解説

設問文では、「舟橋は、ある目的のためにその都度かけられるものであり」とある。つまり設問の要求から考えると、この「目的」を考えればよいということになる。さらに、当時の政治・軍事状況を勘案することが要求されているので、それを考える。この「当時」は一遍上人絵伝の時期、つまり、(1)の一遍の生没年から考えて、13 世紀後半が想定される。13 世紀後半の軍事上の大きな出来事と聞いて、元寇を思い浮かべることは難しくない。元寇に際しては、東国の御家人が大宰府方面で大規模に動員された。橋を架けることにより、迅速な動員を目指したと判断してよいだろう。では政治状況はどうか。この時期、幕府は元寇に対処するため、従来の御家人制を踏み越える非御家人の動員を模索していたこともあり、朝廷との交渉が活発であった。少々理由として弱いかもしれないが、こうした交渉は、もちろん書簡などでなされるわけであり、その運搬の迅速化を目指したとし

て矛盾はない。

以上をまとめる。字数が少ないため、東国武士の動員ワンポイントの問題である可能性はあるが、何らかの政治状況を考えてという形跡を答案に残す努力はすべきである。

(4)

解答

北条時宗

解説

(3)で考察したとおり、元寇の時期であると考えれば、当時の幕府執権と聞いて**北条時宗**を導き出すことは容易である。

問2 難易度：★★★★☆

解答

(1)記録荘園券契所 (別解：記録所) (2)後三条天皇

解説

荘園整理令は平安時代数回にわたって出されたが、ここでは「**摂関家にも大きな打撃を与えた**」から**延久の荘園整理令と判断する**。**後三条天皇**(位 1068~72)は、摂政・関白を外戚としない天皇であり、その即位は摂関政治の終結を意味した。そのため、後三条天皇が発した延久の荘園整理令は、摂関家の荘園にも手が及び、かなりの成果をあげることになった。この時に設置されたのが**記録荘園券契所**であり、この際に**宣旨**^{せんじます}に柀の大きさが統一された。

問3 難易度：★★★★☆

解答

関銭

解説

リード文と設問を読んで要求をまとめると、「中世において関が通行の安全を保障するための見返りとして要求したものを漢字2字で答えよ。」となる。中世の関所は幕府や寺社の財源確保のため設置されたケースが多く、そこでは**関銭**が徴収された。

問4 難易度：★★★★☆

解答

(1)厳島神社 (2)平家納経

解説

平清盛は安芸の宮島にある**厳島神社**を平家一門の氏神とした。清盛は一門の繁栄を願い写経を奉納し、これは**平家納経**とよばれている。

問5 難易度：★★★★☆

解答

(1)草戸千軒町 (2)広島県

解説

草戸千軒町は、備後国の港町でありながら、常福寺^{じょうふくじ}の門前町、市場町としての機能も果たしていたことで知られる。リード文の備後という記述から、これが広島県であることもわかる。

問6 難易度：★★★★☆

解答例

動乱期の情勢の中で、富の源泉である市場と家臣が結びつくことは、反乱や分裂の発生・深刻化を助長しうると考えられたため。(58字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 小早川氏が家臣を市場に居住させなかった理由

解説

まず、リード文最終段落に注目する。「都市は、富の源泉であり支配の基点となりうる場所であった。そのため、(中略)法整備(中略)に積極的に取り組む必要があったと言えよう。」とある。居住を禁じたことは法整備の具体例であることを考えると、この「そのため」という因果関係を示す接続詞の前の部分が、理由の核となることは当然である。だが、富の源泉であり支配の基点であることがなぜ禁止につながるのかは説明が必要である。ここで、設問の最初の部分「南北朝動乱のさなか」や注8の「観応^{しやうらん}の擾乱直後」に注目する。この時代には、上部権力の分裂に伴って、地域権力も分裂が進み、上部権力と無秩序に結びついて内乱が常態化していた。この中で、こうした市場は「富の源泉であり支配の基点」であるので、分裂後の相手や反乱勢力(またはその予備軍)の手に渡すことは、地域支配者にとって致命的なことであり得ると考えられる。

以上のことを60字以内で簡潔にまとめる。史料や設問文はもちろん、リード文の理解も必要とされ、かつ時代背景を想定した推測を要求する、レベルの高い問題である。

(釈迦戸雅史, 下谷佳楠, 久米光仁)

2015 年度 北海道大学 前期 日本史

③ 3つの文化圏と江戸時代の農村統治

出題範囲	古代・中世・近世の文化史・社会史
難易度	★★★★☆
所要時間	20分
傾向と対策	第3問は、弥生時代から近世にかけての北海道や南西諸島を含む日本列島全体の文化と、近世の農村における税負担のあり方という、大きく分けて2つのテーマを扱うものであった。文章Aに関する問題は難易度も標準的なものが多く、きちんと学習を積み重ねてきた受験生にとってはやややさしかったであろうが、史料Bを扱った問題に関しては、史料の読み取り問題などが出題され、その場での思考力・対応力が必要となるなど、ハードルが高かったように思われる。このような問題への対策としては、前提となる知識を身につけることはもちろんのこと、過去問の類題などを通じて問題の解き方のプロセスを体得しておくことが有効である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800 年の場合

80	0	年
8	00	年

1200 年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEAN の場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

- A
- 問1 弥生 擦文 オホーツク 館
- 問2 (僧侶) 隠元隆琦 (宗派) 黄檗宗
- 問3 (北の文化) 続縄文文化 (南の文化) 貝塚文化
- 問4 異民族と見なして交易独占権をあたえた藩を通じて将軍や藩主に服属させるなど、間接的な支配体制をとった。(50字)
- 問5 (1)8世紀以降
- (2)渡来人が須恵器の技術を伝えたのは5世紀、和同開珎の鑄造は8世紀初頭のことだから。(40字)

B

問6 718 石 1 斗 9 升 2 合

問7 反別の標準収穫高の石盛に土地の面積を乗じると高が算定される。(30 字)

問8 (1)徳川家康 (2)夫役 (別解：高掛物, 国役, 伝馬役, 助郷役)

A

問1 難易度：★★★★☆

解答

ア 弥生 イ 擦文 ウ オホーツク エ 館

解説

ア 日本では縄文文化が1万年余り続いていましたが、紀元前5～4世紀以降、大陸から伝来した水稻耕作を特徴とする弥生文化が北海道や南西諸島を除く日本のほぼ全域に広がった。

イ 「北の文化」の地域では弥生文化が浸透せず、引き続き獲得経済の社会が維持されたが、7世紀になると擦文文化に移行した。この文化の名前の由来となった擦文土器は、縄文土器と土師器の影響を受けた土器である。

ウ 9～13世紀には、オホーツク海沿岸一帯で発展していたオホーツク文化が擦文文化と融合し、いわゆるアイヌ文化が成立した。

エ 和人商人は北海道においてアイヌの人々と交易を行ったが、その拠点は館とよばれる。その交易の中心的な役割を担ったのが津軽の十三湊を根拠地としていた安藤氏である。

問2 難易度：★★★★☆

解答

(僧侶) 隠元隆琦 (宗派) 黄檗宗

解説

江戸時代初期に活躍した明出身の僧隠元隆琦(1592～1673)は、禅宗の一派である黄檗宗を開いた。黄檗宗の本山は宇治の万福寺だが、これは隠元隆琦が後水尾天皇(位 1611～29)からあたえられた土地に建てたものである。また、黄檗宗には明の念仏禅の影響を多分に受けているという特徴がある。

問3 難易度：★★★★☆

解答

(北の文化) 縄文文化 (南の文化) 貝塚文化

解説

問1の解説に記したとおり、北海道と南西諸島地域には弥生文化が浸透しなかったが、その代わりに北海道では縄文文化、南西諸島では貝塚文化という、農耕を伴わない食料採取文化が続くことになった。縄文文化の

特徴は、鉄器の使用と、サケ・マスを捕まえる漁労が中心に行われたことである。一方、貝塚文化の特徴は、その名のとおり貝類の採集が中心になされたことである。

問4 難易度：★★★★☆

解答例

異民族と見なして交易独占権をあたえた藩を通じて将軍や藩主に服属させるなど、間接的な支配体制をとった。
(50字)

設問の要求

字数 50字以内

主題 江戸幕府による琉球、蝦夷地の支配の内容

条件 17世紀

幕府が琉球・アイヌの人々をどのような支配体制に組み込んだかを説明する

解説

幕藩体制が成立した17世紀には、アイヌや南西諸島の人々など、幕府が「異民族」と位置付けた人々に対する支配の形態が確立していった。

琉球王国は、1609年に島津家久(1576~1638)率いる薩摩藩の軍によって征服された。薩摩藩には交易独占権が与えられたほか、琉球において検地を行い、黒砂糖の上納を課すなど実質的な支配を進める一方で、中国との朝貢貿易は引き続き行わせた。このことによって、琉球は薩摩藩と中国の両方に服属することになった(日中両属)。また、琉球からは国王の代替わりごとに謝恩使が、幕府の将軍の代替わりごとに慶賀使が派遣されるなど、将軍に服属するかのような体裁がとられた。

アイヌの人々の支配に関しては、松前藩が幕府から交易独占権をあたえられ、当初は商場知行制を採用していたが、1669年のシャクシャインの戦いを経て、アイヌの人々は全面的に松前藩に服従することになり、場所請負制がとられるようになった。

本問は、基本的に以上のことがわかっていれば解答は作成できるのだが、論述の仕方はさまざまなものが考えられる。ただし、できればおさえておきたいのは「幕府がアイヌや南西諸島の人々を異民族と見なしていたこと」「松前藩や薩摩藩にそれらの人々との交易独占権をあたえていたこと」である。

以上をまとめて解答しよう。

問5 難易度：★★★★☆

(1)

解答

8世紀以降

解説

須恵器をつくる技術が渡来人によって日本に伝播したのは5世紀、和同開珎が鑄造されたのは8世紀のことである。よって、この墳墓の成立年代は8世紀以降である。

(2)

解答例

渡来人が須恵器の技術を伝えたのは 5 世紀、和同開珎の鑄造は 8 世紀初頭のことだから。(40 字)

設問の要求

字数 40 字以内

主題 墳墓の成立年代の考察

条件 須恵器、和同開珎が出現した年代を根拠にする

解説

前述のように、須恵器をつくる技術が渡来人によって日本に伝播したのは 5 世紀、和同開珎が鑄造されたのは 8 世紀のことである。これらがそれぞれ何世紀の出来事なのかを知っていれば容易に解答できる。単純にこれらの時期を覚えてしまうというのも 1 つの方法である。しかし、須恵器は古墳時代に用いられるようになったこと、また 8 世紀初頭に武蔵国から銅が献上されたことにちなんで年号が和銅に改められたことなどを関連づけて覚えておけば、より容易に解答を導くことができるだろう。

このように、単純な暗記に頼らず、知識の関連づけを行うことも効率よく学習を進めるうえで重要である。

以上をまとめて解答しよう。

B

問 6 難易度：★★★★☆

解答

718 石 1 斗 9 升 2 合

解説

本問は、あたえられた史料に漢数字で書かれた数値を、算用数字にして答えるという単純な問題であったが、受験生にとってつまずきやすいと考えられる点がある。

それは、「十」が「拾」、「一」が「壹」、「二」が「弐」と表記されている点である。ただし、この点については知っているか否かで差がつく問題であり、他の史料問題で漢数字の読み取りが出題される可能性もあることを考えると、これを機に覚えてしまうのがよいだろう。

問 7 難易度：★★★★☆

解答例

反別の標準収穫高の石盛に土地の面積を乗じると高が算定される。(30 字)

設問の要求

字数 30 字以内

主題 石高制における単位

条件 高と石盛、反別の関係を具体的に説明する

解説

与えられた史料が江戸時代の農村における徴税に関するものであるため、ここでいう「高」とは「石高」を表すことは明白である。そして、石高とは石盛に土地の面積を乗じたものであるため、あとは「反別」という語句の処理が問題となるが、今回は「石盛」の意味を説明するために用いられる。「反（段）」とは、土地の面積の単位であり、これは鎌倉幕府が御家人に段別 5 升の兵糧米の徴収を認めたことなどを覚えていれば推測がつかだろう。そのうえで、「反別」とは「1 反あたりの」という意味であり、また「石盛」とは 1 反あたりの標準収穫量を指すから、以上をうまくつなげれば解答となる。しかし、30 字という非常に短い字数で論じることが要求されているので、必要な情報だけをなるべくコンパクトにまとめる必要がある。

問 8 難易度：★★★★☆

解答

(1)徳川家康 (2)夫役（別解：高掛物、国役、伝馬役、助郷役）

解説

(1)まず、史料が文久元年（1861 年）、つまり江戸時代に作成されたものであることを確認したうえで、「東照神君様」に含まれる「東照」という言葉に注目する。ここで、江戸時代初期に建てられた日光「東照宮」や、ここで徳川家康が「東照」大権現として祀られたことを想起すれば、「東照神君様」が徳川家康であるということがわかるだろう。しかし、本問は問題中でのヒントが実質的にないため、難易度は高いといえる。

(2)江戸時代における「諸役」には、1 国単位で治水工事などを課す国役などの夫役や、山や河川の利用等にかける雑税の総称である小物成、本途物成以外に村高に応じて課された付課税である高掛物、街道周辺の村に課された助郷役を含む伝馬役などさまざまなものが含まれる。しかし、3 目の文にある「高外」とは、村高に記されない土地のことを指し、小物成の一部として課税されることがあった。よって、小物成以外の夫役を答えれば基本的に正解になると考えられる。

大学入試においては、本問のように一見答えがわかりづらい問題も含まれることがあるので、そういった問題をほどほどに処理して、確実に正解できる問題を落とさないことが重要である。

（瀧拓也，下谷佳楠，久米光仁）

2015 年度 北海道大学 前期 日本史

4 山県有朋の生涯・近現代の沖縄史

出題範囲	近現代の政治史・外交史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	第4問は、Aは山県有朋に関するリード文、Bは沖縄県に関するリード文から近現代の政治史・外交史を問う問題であった。A・Bともにおおよそ一般的な知識が問われているが、問1のイや問5のような教科書にあまり取り上げられていない知識を問う問題もみられた。このような問題は、リード文にヒントが書かれていることが多々あるので、リード文を熟読することが大切であろう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

A

問1 奇兵隊 対馬 教育（二関スル）勅語

問2 官吏，一部の学生や洋行修行中の者，戸主とその相続者，代人料を納めた者など。（37字）

問3 国境としての主権線に対して，利益線とは国家の安全独立を保障する勢力範囲のことで，朝鮮半島が想定されていた。（53字）

B

問4 尚泰 絶対国防圏 日米行政協定

問5 軍事的に戦力とならない老人や子どもを九州へ疎開させるため。（29字）

問6 ひめゆり隊

問7 奄美諸島（別解：小笠原諸島）

問8 ベトナム戦争

問9 辺野古

A

問1 難易度：★★★★☆

解答

ア 奇兵隊 イ 対馬 ウ 教育（二関スル）勅語

解説

ア 奇兵隊が入る。奇兵隊は、長州藩の正規の兵ではなく、高杉晋作(1839~67)によって身分にかかわらず志願兵から組織された軍隊である。第二次長州征討や戊辰戦争で倒幕派の主力として活躍した。

イ 対馬が入る。少々難しいかもしれないが、対馬は従来対外防備の要地であったことと、リード文の「西門」、「北部九州の島嶼」、「国境防備の観点」から判断したい。

ウ 教育（二関スル）勅語が入る。1890年であることとウの後のリード文「『軍人勅諭のことが頭にあるゆえに』教育にも同様のものを欲した」から判断したい。教育勅語は、1890年に発布され、忠君愛国や忠孝などの儒教的道徳を教育の柱とすることを示した勅語である。

問2 難易度：★★★★☆

解答例

官吏、一部の学生や洋行修行中の者、戸主とその相続者、代人料を納めた者など。(37字)

設問の要求

字数 40字以内

主題 初期の徴兵令の免除規定

解説

徴兵令とは、国民皆兵の方針により、満20歳以上の男性を徴兵することを定めた法令であった。その中で(1)官吏、陸海軍学生、官立専門学校以上の学生、洋行修行中の者、(2)戸主とその相続者、(3)代人料270円の上納者は徴兵を免除された。そのため、実際に徴兵対象となったのは、貧農の次男以下であった。ちなみに、1883年の徴兵令改定により免除規定は一部削除されることになる。

以上をまとめて解答しよう。

問3 難易度：★★★★☆

解答例

国境としての主権線に対して、利益線とは国家の安全独立を保障する勢力範囲のことで、朝鮮半島が想定されていた。(53字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 「利益線」の意味と山県の想定していた地域の説明

条件 「主権線」との違いがわかるように説明する

解説

「主権線」とは、**国家主権の範囲**つまり**国境**である。一方で、「利益線」は、**国家の安全独立を保障するための勢力範囲**のことであり、それはすなわち**朝鮮半島**のことを指していた。**山県有朋**(1838~1922)は、第一議会の予算案説明の中で、「主権線」のみにとどまらず、「利益線」の確保を主張し、軍拡の必要性を強調した。

以上をまとめて解答しよう。

B

問4 難易度：★★★★☆

解答

エ 尚泰 オ 絶対国防圏 カ 日米行政協定

解説

エ **尚泰**^{しょうたい}(1843~1901)が入る。1872年に、政府は**琉球藩**をおき、尚泰を藩王とした。1879年の**沖縄県設置**の際に琉球王国および琉球藩が廃止されたことで最後の藩王となった。

オ **絶対国防圏**が入る。絶対国防圏は、**太平洋戦争**の中で、**戦略上「絶対確保すべき圏域」**のことである。日本が1942年の**ミッドウェー海戦**を機に、海上および航空戦力で劣勢になった情勢を受けて、国防権を設定し、その範囲の防衛強化を図ったが、1944年の**サイパン島陥落**によりこの構想は失敗に終わった。

カ **日米行政協定**が入る。日米行政協定は、**日米安全保障条約**にもとづいて締結され、これにより日本はアメリカ駐留軍に基地を提供し、駐留費用の一部を負担することとなった。1960年に**日米相互協力及び安全保障条約**（**日米新安全保障条約**）が締結されると、**日米地位協定**に改められた。

問5 難易度：★★★★☆

解答例

軍事的に戦力とならない老人や子どもを九州へ疎開させるため。(29字)

設問の要求

字数 30字以内

主題 対馬丸に沖縄住民が多数乗船していた理由

解説

リード文から、対馬丸事件について(1)1944年8月に起きた事件であること(2)乗船していた沖縄住民には国民学校児童が多数含まれていたこと(3)事件からおおよそ2カ月後に沖縄各地で大空襲があったことがわかる。

これらの情報と内地でも行われた**学童集団疎開**の知識から、米軍上陸の危機が迫る**沖縄から非戦闘員を疎開させる**目的があったと考えられる。

以上をまとめて記述する。

問6 難易度：★★★★☆

解答

ひめゆり隊

解説

ひめゆり隊は、沖縄県立第一高等女学校と沖縄師範学校女子部の生徒からなる女子学徒隊であり、おもに看護要員として動員されていた。沖縄では全部で8校の生徒が女子学徒隊として動員された。

問7 難易度：★★★★☆

解答

奄美諸島（別解：小笠原諸島）

解説

サンフランシスコ平和条約において、沖縄県に加えて奄美諸島や小笠原諸島も日本の施政権の範囲外とされた。奄美諸島は1953年に、小笠原諸島は1968年に日本に返還された。

問8 難易度：★★★★☆

解答

ベトナム戦争

解説

アメリカ軍が介入したインドシナ半島における戦争とは、ベトナム戦争のことである。ベトナム戦争とは、共産主義国のソ連・中国から支援を受けるベトナム民主共和国（北ベトナム）・南ベトナム解放民族戦線と資本主義国のアメリカから支援を受けるベトナム共和国（南ベトナム）の間に起こった内戦である。1965年よりアメリカが北ベトナムへの爆撃など軍事介入を開始し、その際沖縄が前線基地としておもに利用された。

問9 難易度：★★★★☆

解答

辺野古

解説

普天間飛行場（普天間基地）の移転候補地として注目されているのは、沖縄県名護市の^の辺野古である。しかし、名護市での反発も大きく、2017年12月現在、いまだに政府と地元反対派の衝突が続く事態となっている。

（浦地智暉，帆玉光輝，藤森千佳，下谷佳楠）